

日本の中古車市場

黒坂ゼミナール第3部

金融学科4年 上松信之哉

要旨

今日、新車の需要が低迷しているが、一方で市場規模が拡大している市場がある。それは日本からの「中古車輸出」。1997年には43万台だった輸出台数は、2007年には約130万台を突破し、2009年にロシアが輸入関税を引き上げたため一時的に減少したが、アジア、アフリカ諸国を中心に輸出台数は回復傾向にある。日本のクルマは高品質で、しかも耐久性に優れているため、海外から高い人気を得ている。多くの外国人バイヤーが国内の中古車オークション会場（JU、JAA、USS等）に車を仕入れに来ていることから日本車の人気の高さがうかがえる。現在、その輸出先は欧米先進国だけでなく、中南米やアフリカなど、世界に広がっている。今回私は、国内販売・海外輸出に分けた分析をすると共に、日本中古車産業の市場動向を展望し、将来的なビジネス展開を備え、その課題を克服できる提案をしたい。